

看護管理学

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、附属病院看護部		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学修方針（講義概要等）

看護は、個人、家族および集団等様々な対象に提供されるサービスである。安全で質の高い看護サービスを継続的に提供するためには、看護管理（看護サービス管理）が不可欠である。本科目では、看護管理を行う上で必要な、看護サービスの特徴、サービス提供のための組織化、サービスの質評価と改善および組織変革理論等について学ぶ。また、リーダーに必要な能力について学ぶ事を通して、多職種が連携して行う医療サービスの協働者として、leadership や followership を発揮するための基本的な態度を身に付ける。

・教育成果（アウトカム）

医療・看護サービスの特徴を理解し、看護管理とは何かを学ぶことを通して、安全で質の高い看護サービスを提供するために必要な知識・技術を身につける。又チーム医療やリーダーシップについて学ぶことを通して、多職種が連携して提供される医療・看護サービスにおいて看護職としての役割を發揮できる基本的な態度を身につける。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 6, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 看護管理（看護サービスマネジメント）とは何か説明できる。
2. マネジメントの理論とリーダーシップについて説明できる。
3. 看護サービス提供のプロセスと仕組みづくりについて説明できる。
4. 看護サービス提供のための人材育成とその活用について述べることができる。
5. 看護サービスの質評価と質の保証について述べることができる。
6. 情報管理と個人情報保護の重要性を理解し、適切な情報マネジメントが実践できる。
7. 組織的な患者安全マネジメントについて述べられる。
8. 看護を取り巻く諸制度について理解し、今後の展望について検討できる。

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
4/13 (木) 3限	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授	1. 看護管理学とは 2. 看護におけるマネジメントの考え 3. 組織目的達成のためのマネジメント 4. 看護サービス提供の仕組みづくり ・看護管理学とは何か説明できる ・看護におけるマネジメントについて説明できる ・組織目的達成のためのマネジメントと看護サービス提供の仕組みづくりについて説明できる 事前学修：看護管理とSDGsについてまとめ提出
4/19 (水) 3限	附属病院看護部 佐藤 悦子 看護部長	看護サービスのマネジメント 1. 病院経営と看護管理 2. 医療機能の評価 3. 重症度、医療・看護必要度 4. 医療におけるサービスの質の保証 5. 施設・環境・物品のマネジメント ・看護サービスの質評価と保証について説明できる
4/25 (火) 2限	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授	看護サービスの質保証 1. 組織マネジメントの基本 2. マネジメントに必要な知識 3. 人材のマネジメント ・組織の構造員を調整する要素が理解でき、問題解決の方法を説明できる ・看護サービス提供のための人材育成とその活用について説明できる
6/13 (火) 2限	共通基盤看護学講座 菫蒲澤 幸子 教授	看護サービスのマネジメント 情報のマネジメント 1. 医療情報の利活用 2. 情報の公開 3. 個人情報の保護と管理、診療情報の開示 4. 診療記録等の電子化と医療情報システム ・個人情報の管理について説明できる ・情報リテラシーを高める行動を身につけることができる 事前学修：情報管理と個人情報保護について医療職者として行動についてレポート提出

6/20 (火) 2限	附属病院看護部 高橋 弘江 副看護部部長	<p>災害時の看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害の定義と分類 2. 災害看護の定義と目的 3. 継続看護と入・退院調整 4. 災害医療における多職種連携 <ul style="list-style-type: none"> ・災害看護の定義、目的を説明できる ・災害医療における多職種連携について説明できる <p>事前学修：1年時に学修した災害看護を復習し災害看護における看護職の役割についてレポート提出</p>
6/29 (水) 2限	附属病院看護部 鳥居 明美 副看護部部長	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理体制整備と医療安全文化の醸成 2. 医療事故・インシデントレポートの分析と活用 3. 多重課題の特徴と対応 4. 地域・施設での安全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・組織的な患者安全のマネジメントについて述べられる
7/4 (火) 2限	附属病院看護部 近藤 啓子 感染制御部看護師長	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 2. 感染の危険を伴う病原体への暴露 3. 職業感染に対する予防策 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症とそのリスクマネジメントについて説明できる ・感染の危険を伴う病原体への暴露とその予防策について説明できる ・廃棄物の適切な取り扱いについて説明できる
7/6 (木) 3限	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授	<p>マネジメントに必要な知識と技術</p> <p>質の高い看護を提供するため個々の看護職が果たす役割についてグループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織の構造員を調整する要素が理解でき、問題解決の方法を説明できる ・必要なリーダーシップを発表できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護管理 看護の統合と実践①第10版	著者代表 上泉和子	医学書院	2018
教	看護学概論第17版	茂野香おる他	医学書院	2020
参	看護の統合と実践①看護管理 第5版	編者 吉田千文他	メディカ出版	2023

・成績評価方法

- ・事前事後課題の学修内容 20点。
- ・定期試験の結果 80点で評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

- ・各自、授業に出るにあたっては、教科書の該当部分を読んで、ディスカッションができるように用意しておくこと（事前学修 30～60 分）

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・各講義の終了時にリアクションペーパーを提出。
- ・理解できなかった点については次の授業の際に説明する。
- ・レポート提出を求める場合は、WebClass を活用し、課題及びレポート様式を提示する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護管理論

助産師（別表 2）：助産管理

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（EPSON EB-L610WVPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（ELMO PX-10）	1	講義用資料投影